

# モニター通信 No.3

皆さんから寄せられた「モニター通信9月分」を紹介します。

## 「キャッシュレス決済の今後について」

～消費税増税による景気下振れ対策としてのキャッシュレス還元制度が終了しました。今後、どのような方法で賢い消費をしていきますか～

### モニターから No.1

私は、今回の消費増税によるクレジットカードや電子マネーなどの使用によるキャッシュレス還元制度の終了に対して、消費行動に特段の行為は行っておりません。と言うのも、前から殆ど買い物はクレジットカード決済しているからで、今日コロナ禍において特にスーパー等では現金取引でなくカード決済を強調しているように感じられます。

クレジットカード等現金以外での買い物ですと購入額によりポイントが付与されるので、得したような気分になります。ただ現金取引でないために、いくら買い物したかの現実感が乏しくなり買い過ぎるきらいがありますので、十分心して買い物しています。

セキュリティの関係で、個人情報は何百万人分流出したとかの新聞報道も散見されますが、世の中総じて完全無欠・安全な物はない事を肝に銘じて使用・対応しております。また利用限度額についても、10万円とか20万円位に設定しており、高額商品を購入する時は限度額引き上げの申請をしています。しかし、いずれの時代も必ず悪知恵を出す輩が出ることは想像に難くないために、監督官庁は事前にその悪い芽を早く見つけ摘む備えをし、同時に悪い輩が出現した時に厳罰に処する法整備も喫緊の課題と思います。

### モニターから No.2

キャッシュレス決済の今後というテーマではあるが、そもそも私はキャッシュレス決済をしていない。世間はどんどん進んで行っているが、なぜか私はその気にならない。多少の勉強はしているつもりだが、未だにマイナスイメージを払拭することが出来ない。近い将来デビューする時があるとは思いますが、時代に逆行するのもありかなとも思う天邪鬼である。

さて賢い消費者になるためにはどのようなことが大事なのかということをしばらく考えてしまった結果「トラブルの知識を増やす」という私なりの結論

を見つけ出した。様々な媒体からの事例をより多く知ることにより、警戒心を持ち、より慎重な態度で行動することが出来るようになるだろう。具体例を知り、一年後、二年後には賢い消費の出来る賢い消費者になれたらいいなあ・・・と思う。

### モニターから No. 3

令和2年8月28日夕、持病再発により安倍晋三首相は辞任の意向を表明した。在任期間7年8ヶ月の中で、2度の消費増税を実施。しかも10%増税時には軽減税率導入による煩雑なポイント還元計算処理に、私たち消費者は翻弄され続けた。

そもそもアナログ人間を自称する私にとって、キャッシュレス決済など無用の長物。だから、あえてマイナンバーカードを作成しマイナポイントを積み立てる予定も全然ない。今月（9月）から始まる「マイナポイント制度」では、キャッシュレス決済の頻度に応じ、国は最大5,000円分のポイントを付与するという。（本年9月～来年3月まで）まさに預貯金好きな私たちの国民性を巧妙に操りながら、また巨額の負債を各世帯ごとに背負わせようとしているのかもしれない。

これまでも「財テク」を推進し、高額な美術品や金塊などの取り引きが行われてきたのは、世の常である。それに加え（民間・政府系を問わず）あらゆる金融機関のすすめる一般NISA（少額投資非課税）口座が、中高年者だけでなく、若年層への普及活動にも幅広くアピールされることを望む。そうなることで、より賢い消費動向も形成され、発展していくであろうことに期待したい。

### モニターから No. 4

スーパーのレジの列に並びすぐ前に並んだ若い女性が137円の買い物をし、クレジットカードで支払っている場面に驚いたのは何年前だったろう。高齢者という人種の仲間入りをした私は、ポイント永久不滅というクレジットカードを多く利用しているが、万単位での買い物時の利用が多い。1,000円以下だと金銭感覚がなくなり、きりなく利用する危険といつ引き落とされるかとの管理のわずらわしさが先に立ち、利用することもあまりなかった。

だが、消費税増税がされ景気の落ち込み緩和のためキャッシュレス還元制度が施行された。そのとたんレジの方が支払い時現金かクレジットかと、支払い方法の選択を問いかけるようになった。その時クレジットカードでも良いのか?!と認識し、クレジット払いと答えることが増えてきた。その後遅れてクレジット会社から月毎の利用明細が送付されてくる。その明細を見るとしっかりと還元された金額が明記されている。けっこうな金額なので、この制度を利

用しない手はない！！ただ座っているだけでは誰もお金をくれることはない・・・と。クレジットカードでの支払いが増えていった。その分、サイフの中に現金はあまり入れていないが、数ヶ月ほとんど減らない分、買い過ぎには注意が必要の状況に陥りそうだ。

だが、そのうち今年に入りコロナのパンデミック後、不特定多数の人が手にするお札等のお金さえ触るのが恐くなり、少額でもクレジットカード利用が増えてきた。6月末でキャッシュレス還元制度が終了した7月からは、少しサイフ中に現金を入れておくようにはなったが、コロナの終息も見えず自分のカードを出すことが多くなったことは確かだ。

9月からはマイナポイント制度が政府から発表された。早めにマイナンバーカードは作成してあったが、いまいち利用法が理解できない上、加入店舗もまだ少ないと報道され、マイナポイントの利用のGOサインは出していない。今後は自分の消化傾向を分析しながら、ポイントや還元の言葉だけに踊らされず、賢い消費生活を送りたいと思案している。

ただ一つカード支払いが増えることで、レジ前でお札を数えたり小銭を探すことがなくなりレジの行列緩和、また滞留時間が少なくなりコロナウイルスの蔓延には貢献することになるかなとは思っている。

## モニターから No. 5

「キャッシュレス決済ポイント還元」制度は消費税の値上げに伴う消費の減少を少なくすることを目的として一定期間のみ行われただけであって、その目的を果たしたかどうかはしかるべき調査などを待たねばなるまい。しかし、そういうことを考える前にコロナ禍が発生してしまった。この還元制度のあるなしに関係なくその何十年も前から支出はクレジットカード払いを主として来たわたしは、還元制度が終わったからとて支出・消費行動に何かを変えようとは思わないし、変わるはずもない。

支払いの度に一円の桁まで数えて渡す、お釣りを渡すのに一円の桁まで数えなくてはならない、そういう行動で時間がかかり行列は長くなり、なかなか進まないというあまりにも非近代的な光景は、すでに先進工業国でのそれではなかろう。しかもコロナ禍で、どこかの誰かの持ってきた現金を支払い・釣銭受け取りの度にやり取りをするということはいいことなのか。手指の消毒で済むことなのか。この頃の支払いでは、カード決済の客は備え付けのカード決済機に自身でカードを差し込むようになってきた。他人の使った現金を店員を経て受け取るなんてことはないどころか、自分のカードを店員にさえ触らせずに済む。それが他人を待たせることなくあっという間に終わり、しかもカード会社からはポイントが付与される。

工業先進国どころか東南アジアのいくつかの国々よりもキャッシュレス化が遅れているという日本の現状はなぜなのだろう。コロナ禍を契機に始まったマイナポイント制度だって、カード支払いをしなくてはならないのだから現金主義の日本人にどれほど利用されるのか、これもポイント還元制度と同じく期間限定であるから、しかも手続きの面倒で時間のかかるマイナンバーカードを入手しなければならない、しかも使用の限度額もあるということもあって、この制度の効用は疑わしい。

大昔の物々交換から始まった価値の交換制度は貨幣の出現でその形を大きく変えたが、今またその貨幣をなくそうという時代になって来たということに気付いて、現金を見ないと・持たないと安心できないという性癖をなくさねばならないのではないか。欧米での滞在生活で現地の一般人たちと同じように小切手帳を日常的に使っていたが、現金を全く持ち歩かないという便利さを経験した。帰国後は日本では一般人の小切手はどこでも受け取ってもらえないのでクレジットカードを使い始めた私にとっては現金を見ない・持たないということに何の心配もない。むしろカード支払いの使えない店というのが今の時代にあちこちに存在することが不思議である。国民にキャッシュレス決済を勧めるなら、その前に、政府主導で支払いにキャッシュレス決済をできないところはなくすことである。

## モニターから No. 6

キャッシュレス還元制度がほとんどの店舗で6月30日で終了しましたが、それ以降は形をかえて還元が行われています。ポイントが5倍・10倍になったり、カード決済で5%オフになったり、いい例だと思います。支払いは現金・クレジットカード・電子マネー等あると思いますが、最近ではクレジットカードにデビットカード機能を持たせたカードも登場しているので、すぐに残高が知りたい人にとっては便利かもしれません。

最近ではクレジットカードによる支払い明細も、Web上で確認するといった傾向になってきています。私自身はいまだに紙の請求明細を郵送してもらっています。手数料がかかるようになりましたが、内訳明細が手元に残り確認しやすいので安心だからです。

どの方法で支払うかは人それぞれでよいと思いますが、使いやすかつ管理しやすいのがベストかと思います。私自身は現金を持たない生活に慣れてしまったので、今後もクレジットカードや電子マネーを使っていくと思います。あまりポイントばかり気にしていると、逆に無駄な買い物が増えてしまいます。そのバランスを考えて、上手に利用していけたらと思っています。

## モニターから No. 7

キャッシュレス決済還元制度いろんな特典がありましたがどれだけ得したか良く判りません。買い物している時にお店の人に良く言われましたね。今なら還元がありますから大変お得ですよ、結局無駄な買い物をかなりしてしまったような気がします。

これからは賢く生きる為になるべく買わない生活をしたい。

『不要の物を上げますとか言うネットサイト』を見て賢く利用始めたが、慌てて良く確認せず問い合わせして貰いに行ったらサイズ違いに気が付き、相手に悪かったのを頂いて来て処分代に結構お金が掛かってしまった経験も最近ありました。

今、実行しているのは不要なものと思われるものや最近使用頻度の無い物をどんどん処分して整理が付いたら本当に必要なものだけを買うとか、また家庭菜園をしてなるべく自給自足の生活を心掛けたいです。

## モニターから No. 8

6月末まで実施のキャッシュレス・ポイント還元制度（5パーセントないし2パーセントが還元される）では、買い物や食事した店でカード払いできるかどうか、店先やレジに表示される赤いマークを確認して、私は結構利用してきました。

7月から実施されているマイナポイント事業は、個人番号カードや電子決済の普及を目指す国の消費活性化政策ポイントプログラムである。マイナンバーカードを取得して、カードでマイナポイントの利用手続きをして、買い物の時に選択したカードでキャッシュレス決済すると、上限 5,000 円分のポイントが付く。カード会社によっては、国の付与する 5,000 円分のポイントの他に、ポイントが余分に付くところもある。カードは、電子マネー・クレジットカード等から自由に選ぶことが出来る。

私は、よく使うカードの中から、複数店で使えて、手続きが簡単なもの、ポイントが余分に付くものを選んで、申し込んだ。10月末に、5,000 円分のポイントとカード会社からのおまけのポイントが付くそうである。夫にも話をしたら、早速申し込んだようである。

前回のキャッシュレス還元制度の時も、よく分からないとかカードを使う不安から、使っていないという人が結構いた。今回のマイナポイント事業も、テレビ等でどこのカードを使うとお得かと流れているが、どれくらいの人が手続きするだろうか。マイナンバーカードを取得するのに、時間がかかるということである。

テレビや新聞からのニュースだけでなく、アンテナを高くして友人や知人と

コミュニケーションをとって、情報を多岐にわたって仕入れることが、賢い消費に繋がるのではないだろうか。

#### モニターから No. 9

世界中で急速に普及して来たキャッシュレス化。今後は現金からキャッシュレスへと変化する時代に向かっていますが、遅れている日本と言われて、足を引っ張っている一人と思いながらポイント還元もあ！と言う間に終了！！言い訳にせめてデメリットは？？「お金を使っている感覚が薄れて使いすぎてしまう。使えない店もある・・・」が、決済が早い！現金管理の不便さから解放される！等、やはりどう見てもメリットの方が大でキャッシュレス時代到来も間近なのでしょう。そんな自分の賢い消費とは

\*スーパーポイントカードで倍率高い日の利用

\*同じ商品でも安価格・鮮度は？スーパーの市場調査・・・等、長年主婦の目利きや感！！等を駆使しつつ、買い占めない・ゴミ出しは最少に等々、ルールを守りつつ時には真剣にセンスを磨く!?自己満足を楽しみながら知恵を駆使しながらの消費生活を。です。

#### モニターから No. 10

消費税増税による景気下振れ対策として、クレジットカードや電子マネーでの支払いに関して、キャッシュレス還元制度があった。私もスーパーマーケットにおいて電子マネーでの支払いによるキャッシュレス還元制度を利用した。普段は支払いの際は現金支払いが多いが、キャッシュレス還元制度を知り、現金ではなく電子マネーを使用することで支払いがスムーズに行えたことが印象的であった。キャッシュレス決済は現金を持ち歩かない利便性、かつポイントが貯まる利得性を兼ね備えており、決済シーンに合わせて現金やキャッシュレス決済を選択して個々が消費に対する意識を高め、関心を持つことが重要だと考える。キャッシュレス決済のメリットやデメリット等具体的な内容を知り、ライフスタイルに合わせて選択していきたい。

#### モニターから No. 11

先ず、スマートホンもクレジットカードも持っていない私はキャッシュレス還元制度の恩恵をほとんど受けることができませんでした。恩恵があったのは電子マネーで数回食料品を買った一つの店でだけでした。還元が少なくて残念だったとは思っていません。それより還元制度があるからといってむやみにお財布のひもを緩めてしまうことは我が家のような年金暮らしの家庭にはできないのです。今回のテーマにあった「賢い消費」とは何か、改めて考えてみる必

要があると思いました。ただ安く買うことができた、ポイントが多くついたり、キャッシュバックがあったことを「賢い消費」というなら、私にはその知識も手段も足りません。ネットで調べて安く購入し、加えてポイントを得てそのポイントのために無料で購入できたという話を聞くと、うらやましいというより自分とは違う世界のことだと思ってしまう。私にとって「賢い消費」とは、必要なときに適性の品質のものを適性の価格で購入する、そのことだけなのです。

## モニターから No. 12

### 《消費生活モニターの活動について》

私達モニターは市の指針に沿って賢い消費者を目指し日々研鑽を行っていません。市民の視点から消費生活に関し意見・情報を勉強していますが、今年新型コロナウイルス騒動により社会勉強が一切できていません。これに加えて高温多湿の天候が2ヶ月以上続いて体調の変化が甚だしく、正常な体調を維持することに大変苦勞をしていることと思います。この状態下にあって、奮起して高温多湿が去った10月以降に、研修会・ビラ配り等、一消費者として自らの研修と一般消費者へのピーアールを行いませんか。コロナ待機で今時なにをするかじっとしているのが嫌になって一寸考えました。

- コロナウイルス対策・健康管理に関する講師をお呼びした研修会。  
特に今、私たちが一番行わなければいけない行動の勉強について。
- オレオレ詐欺等予防・生活安全などの再度の注意が必要なビラ配り。  
土浦市の火災等情報メールでは振り込め詐欺等の情報が多く報道されています。

頭と体をトレーニングしたいと考え、恐る恐る提案します。